

台所のエレクトラ

原作:エウリピデス 上演台本・演出:田中孝弥 原作翻訳・補綴・ドラマツルク:丹下和彦

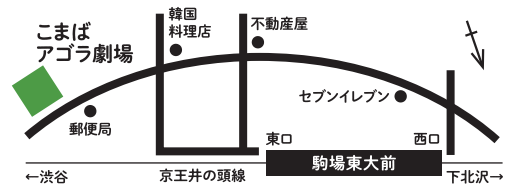
TOKYO
8月31日(木)~9月3日(日)

8/31 9/1 2 3
木 金 土 日
13:00
14:00
18:00
19:00

◆終演後、アフタートークがあります→出演者はwebで公表します。
※各回、開演15分前から田中孝弥により「ピフォアトーク」を行います。

こまばアゴラ劇場

〒153-0041 東京都目黒区駒場1-11-13 tel:03-3467-2743
*京王井の頭線「駒場東大前」駅 東口より徒歩3分
*会場には駐車場・駐輪場がございませんので、お越しの際には公共交通機関をご利用ください。



こまばアゴラ劇場では
劇場支援会員を募集しています。
http://www.komaba-agma.com

OSAKA
10月12日(木)~15日(日)

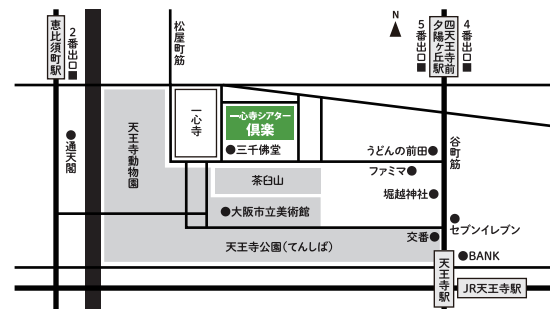
10/12 13 14 15
木 金 土 日
14:00
19:00

◆終演後、アフタートークがあります→出演者はwebで公表します。
※各回、開演15分前から田中孝弥により「ピフォアトーク」を行います。

一心寺シアター倶楽

〒543-0062 大阪市天王寺区達阪2-6-13 B1F tel.06-6774-4002
http://isshinji.net/

※各線「天王寺駅」、Osaka Metro谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」、
堺筋線「恵美須町駅」より、徒歩約15分。
※お客様用駐車場はございません。お車でのお越しの場合は近くのコインパーキングをご利用ください。



◆入場料金(税込):全席指定席 ※1※2

前売券4,500円 ペアチケット8,400円 ※3

U-22券2,500円(22歳以下の方を対象。当日受付にて、要証明書提示)

シニア券4,200円(65歳以上の方を対象。当日受付にて、要証明書提示)

当日券4,800円 ※4

- 開演45分前より受付開始。開場は開演の30分前です。
- 小学生以下のお子様は入場できません。
- 作品上演中の入場は制限させていただく場合がございます。
- 会場内での喫煙・写真撮影は禁止です。

※1 座席指定番号は、予約・購入順となり、当日受付でのお知らせとなります。
詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

※2 【東京公演】こまばアゴラ劇場支援会員様は来場順での発券となります。

※3 ペアチケット・U-22券・シニア券は、前売発売のみとなります。

※4 当日券のお客様は、開演1時間前より受付開始。
完売の際は、当日券の販売はありません。

◆チケット取扱い

①クレジット決済/PayPayをご利用の場合:
PassMarket(<https://passmarket.yahoo.co.jp>)より
ご購入ください。

②カンフェティをご利用の場合:
http://confetti-web.com/seiryutheater_elektra より
ご購入ください。指定席引換券を発行します。

③銀行振込の場合:
清流劇場ウェブサイト内の「ご予約フォーム」より
必要事項をお知らせください。
<振込先口座のご案内>をメールにてお送りしますので、
手続きをお願いします。

着金確認後、<ご購入完了>のメールをお送りします。
[振込期限:東京公演8月24日(木)、大阪公演10月5日(木)]

★①②③いずれの場合も、開演5分前にご来場されていない場合、
座席指定は解除となります。



スタッフ
舞台監督:大野亜希 舞台美術:内山勉 舞台美術アシスタント:新井真紀 照明:森和雄 照明オペ:木内ひとみ 音響:ふじわらゆうこ 音響オペ:樋口華子(大阪公演)
小道具:曾木亜吉弥 衣装:加藤沙知 ヘアメイク:島田裕子 振付:東出ますよ 写真:古都栄二(楠テス・大阪) ビデオ:岩本純一 宣伝動画:西尾孔志
web・制作協力:飯村登史佳 宣伝美術:東学(一八八) 演出助手・大道具:K-Fluss 特別協力:木井礼子
協力:(有)ライターズ・カンパニー イズム アンサンブル・サビーナ
高口真吾 堀内立誉 柏木貴久子 谷川千尋 佐々木治己 川口典成 三ツ石祐子
提携:一心寺シアター倶楽

後援:駐日ギリシャ大使館 日本ギリシャ協会 Japan Greece Society

制作:永朋 企画:一般社団法人清流劇場

清流劇場web: <https://seiryu-theater.jp>

お問い合わせ: ●e-mail: info@seiryu-theater.jp ●tel: 080-2487-1347

SEIRYU THEATER

清流劇場ウェブサイトのご案内
☆感染症対策に関する劇団の取り組みやお客様へのお願いについて、お知らせしています。ご来場前に必ずご確認ください。
☆清流劇場では公演サポーター(個人様からの寄付)を募集しています。コースによって、いろいろな特典をご用意しています。ご支援をよろしくお願いいたします。
☆過去作品のダイジェスト映像や舞台写真を公開しています。是非、ご覧ください。



清流劇場2023年秋公演

台所のエレクトラ

ずっと生きてた。
誰の目にも止まらんかったけど。

原作:エウリピデス
上演台本・演出:田中孝弥
原作翻訳・補綴・ドラマツルク:丹下和彦

出演
阿部達雄
峯素子(街の劇)
八田麻住(マスマミノソラ)
福永樹
中迎由貴子(遊気舎)
勝又諒平
上海太郎(上海太郎カンパニー)

音楽・演奏 仙波宏文



SEIRYU THEATER

TOKYO 8/31(木)~9/3(日) こまばアゴラ劇場
OSAKA 10/12(木)~15(日) 一心寺シアター倶楽

王家の娘、エレクトラ。彼女の父は、母とその愛人によって暗殺された。その後、愛人は王位についたが、復讐を恐れ、エレクトラの幼い弟(オレステス)を殺害しようとする。だが、弟は老僕の助力により亡命する。また、エレクトラも貴族と結婚すれば、そのうち子どもを産み、復讐を目論むだろう。そう考えた愛人は、エレクトラも王宮から追い出し、貧しい農夫のもとに嫁がせる。やがて、時は流れる。

—今、エレクトラは農夫の妻となり(身分の違いから形式上の結婚をしているに過ぎない=処女妻)、田舎のあばら屋に住んでいる。そこへ成長した弟オレステスが帰国し、その家に立ち寄る。初めのうち、オレステスは素姓を隠していたが、やがて身元は判明し、晴れて姉弟再会となる。エレクトラはオレステスを家の中へ招き入れるが、その家は客の接待にも困るほどの貧乏所帯。そこで、昔オレステスの亡命に力を貸してくれた老僕に協力してもらい、ささやかな食材を揃える。貧しくも嬉しい食卓を囲む姉弟二人。

やがて、オレステスは父の仇を討つため、母の愛人のもとへ向かう。エレクトラも知恵をしぼる。彼女は、母を誘き寄せるため、「出産後、調子を崩して寝込んでいる」と、ウソの知らせを送る。家来に見舞いへ行くよう勧められた母は、エレクトラのもとを訪れる……。

ここんとこ、ずっと大阪弁で芝居をしています。今回のお芝居もギリシア悲劇ですが、**大阪弁**でやります。大阪弁でやりますと、ギリシアの王様もお妃様もグッと〈ご近所さん〉になります。演じる役者も生き生きとした感じが増しますし、お客様も肩ひじ張らんと見られますし、西洋古典を方言(生活言語)でやるのも**身近**になってええなあと思うてます。

それから、お芝居中、ご飯を食べます。本来、ギリシア悲劇には食事場面はありません。ほんまは登場人物たちにもそれぞれの暮らしがあつて、飲み食いもしたんでしようが、奇妙なことにギリシア悲劇のどの作品にもそういう日常の行為は描かれてません。でも、今回は**ご飯を食べます**。

と言いますのも、このお芝居の原作者エウリピデス、彼の晩年の作品傾向に「日常性志向」がありました。ふつうの人間が持つ「ねたみ」や「ずるさ」、また反対に「思いやり」や「正義感」。そんな矛盾する感情がごちゃ混ぜになってるのが人間で、エウリピデスはそういう**「人間のありのままの姿」**を描こうとしました。そんな彼でも作品中に食事場面という日常を取り込むことは、なぜかできませんでした。それが紀元前5世紀のギリシア悲劇の限界やったんかも知れません。

ですから、今回の上演では、原作に手を加え、「**日常性**」を強調することにより、エウリピデスの魅力と面白さをさらに引き出してご覧に入れたいと思つてます。

それともう一つ。開演15分前からビフォアトーク(前説)をやります。今回のお芝居にまつわる小話をさせてもらおうと思つてます。よろしければ、ぜひ早めにご来場ください。

田中孝弥

一緒におってくれたら、なに食べてもおいしかったのに。

My Bimbo-meshi
ごはん
魚肉ソーセージ
かにかま
きゅうり
計 241円

My Bimbo-meshi
カップやきそば
ちくわ
計 202円

My Bimbo-meshi
ごはん
ポテトチップス
計 215円

My Bimbo-meshi
ごはん
納豆
赤ワインナー
キャベツ
計 226円

My Bimbo-meshi
あんぱん
メロンパン
牛乳
キャベツ
計 236円

My Best-meshi
ごはん
ししやも
豆苗
トマト
野菜スープ
計 351円

My Bimbo-meshi
ごはん
卵
玉ねぎ
かつおぶし
計 133円

My Bimbo-meshi
豆腐
ねぎ
ミートボール
計 220円

福永樹
FUKUNAGA ITSUKI

阿部達雄
ABE TATSUO

音楽・演奏・仙波文
SEMBA HIROFUMI

八田麻住(マスマミノソラ)
HATTA MASUMI(MASUMINOSORA)

勝又諒平
KATSUMATA RYOHEI

中迎由貴子(遊気舎)
NAKAMUKAI YUKIKO(YUKISYA)

上海太郎(上海太郎カンパニー)
SHANGHAI TARO(SHANGHAI TARO COMPANY)

藤素子(後の藤)
MINE MOTOKO(MACHINOGEKI)